

第6次竹原市総合計画後期基本計画の構成案について

R5.7.5 企画政策課

1 概要

本市では、第6次総合計画基本構想で掲げた、将来都市像である「元気と笑顔が織り成す 暮らし誇らし、竹原市。」の実現に向け、7つの目標像に資する分野別の施策に基づいたまちづくりを推進している。

令和4年度に実施した市民満足度調査の結果によると、「竹原市が住みやすいと感じている市民の割合」は74.7%、「竹原市に愛着を感じている市民の割合」は79.3%であり、多くの市民が、本市に住みやすさや愛着を感じている一方で、資料2及び資料3のとおり、現在取組んでいる施策の中で、満足度の低い施策や前期目標の達成への進捗度が低い施策が課題としてあげられる。

後期基本計画の策定にあたっては、こういった課題や前期基本計画の取組の成果を踏まえるとともに、少子高齢化の進展、スマートシティやゼロカーボンシティ、SDGsの推進など、社会の様々な変化に対応する取組みを加え、誰もが住みやすいと実感し、誇らしく思える、持続可能で魅力あるまちを目指すことを検討する。

2 前期基本計画の構成及び後期基本計画の構成案

前期基本計画は、平成30年7月豪雨災害 竹原市復旧・復興プラン「#がんばろう竹原」を基にした、平成30年7月豪雨災害からの早期復旧・復興に向けた取組と7つの分野で施策を分類し、その中でも重点施策を「たけはら元気プロジェクト」として位置づけた将来像の実現に向けた取組に取り組んでいる。

後期基本計画は、本市における人口の現状を分析するとともに、今後めざすべき将来の方向と人口の将来展望を提示することを目的とし、現在策定している竹原市人口ビジョン（仮称）を基にし、前期基本計画においても取り組んだ将来像の実現に向けた取組を第3期竹原市まち・ひと・しごと創生総合戦略と一体的に取り組んでいく。施策の方向性については、前期基本計画の取組の成果や、市民意識調査の結果等から見えた課題及び近年の社会情勢等を踏まえ、検討する。（後期基本計画の構成案の体系図は資料4のとおり。）